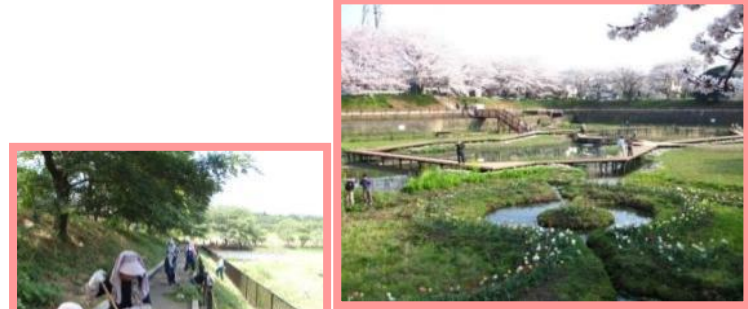
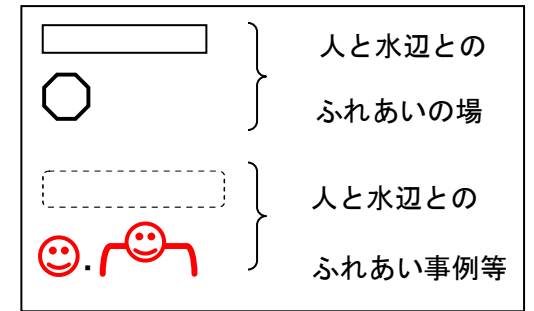


#### 4 親しみのもてる水辺の創出について

##### (1) 人と水辺のふれあいの場及び事例等の状況



6.こてはし台調整池



2.坂月川ビオトープ



1.都川水の里公園



3.六方調整池



①「川の日」清掃活動(坂月川)\*



5.親水護岸(鹿島川)



7.花島公園



4.水環境施設(大池地区)



④水辺のいきもの探索隊!(柏井小)



③水辺のいきもの探索隊!(検見川小)



②水辺のいきもの探索隊!(エコメッセちば)



8.水環境施設(杉山地区)

\*施策事業は「きれいな水(水質)の維持」に基づくものですが、市民による水辺の活動の参考として掲載しています。

## (2) WEB アンケートによる市民意識調査

水環境に対する市民の親しみの意識を把握するため、WEBアンケートを実施しました。

今後も市民の意識の変化を調査し、その結果を新たな指標として評価していきます。

- アンケート実施期間：令和2年8月1日～8月10日
- 回答者数：1,015人

### ■ 身近に感じる水環境があるか (%)

傾向	H21	R2
<p>年度</p>	83.5	89.7
	H21比 (増減)	+6.2
評価	<p>「千葉市の水環境」について、一番身近（親しみ）に感じる水環境（川や海、湧き水など）についてお聞きし、1カ所以上回答いただいた割合は、89.7%となり、9割近い方が水辺を身近に感じているようです。</p>	

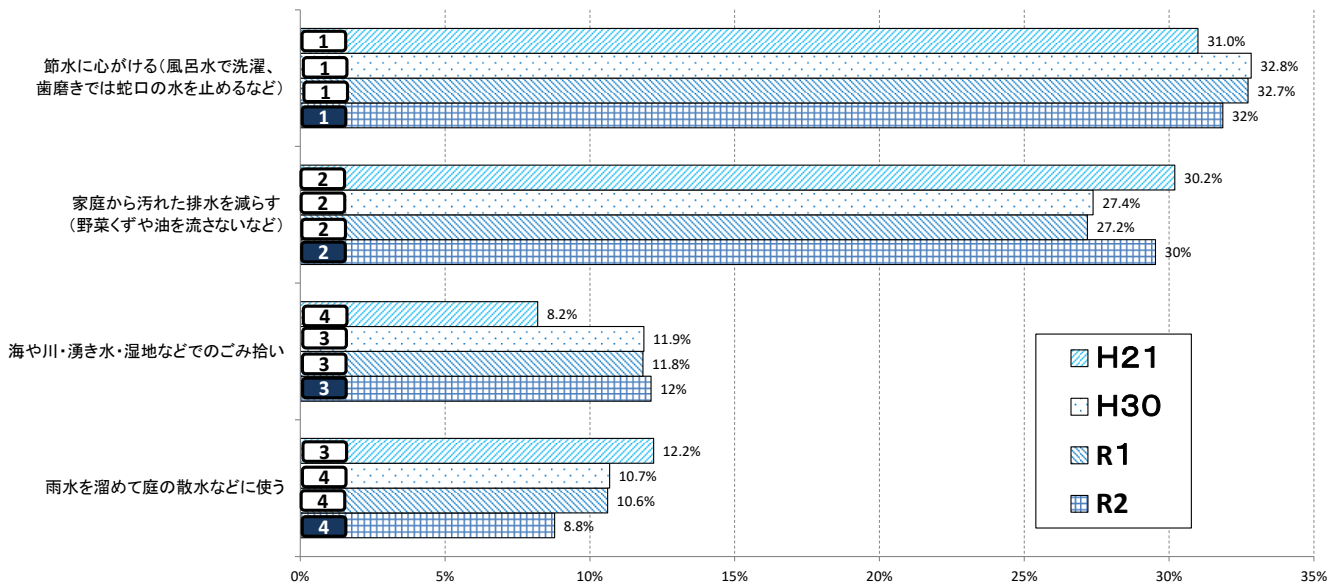
### ■ 水環境の問題で、気になることはあるか (%)

傾向	H21	R2
<p>年度</p>	96.1	91.2
	H21比 (増減)	-4.9
評価	<p>本市の水環境の問題で、気になることについてお聞きし、あると回答をいただいた割合は、91.2%でした。平成30年度までは低下傾向でしたが、今年度は短時間の集中的な雨（ゲリラ豪雨）、雨天時の道路や宅地の水たまりや川の増水といった雨水関係が約60%を占めており、天候による水環境の変化に高い関心が寄せられています。</p>	

■ 谷津田を保全する取組みの認知度（％）

傾向	H21	R2
	31.4	35.3
	H21比 (増減)	+3.9
評価	様々な動植物が生息している千葉市の谷津田を保全する取組みについてお聞きし、知っているという割合は、35.3%となり谷津田の保全に関する取組みの認知度は、以前、3割程度に留まっています。	

■ 水環境を良くするために、あなたができると思うことは何か（％）（複数回答あり）



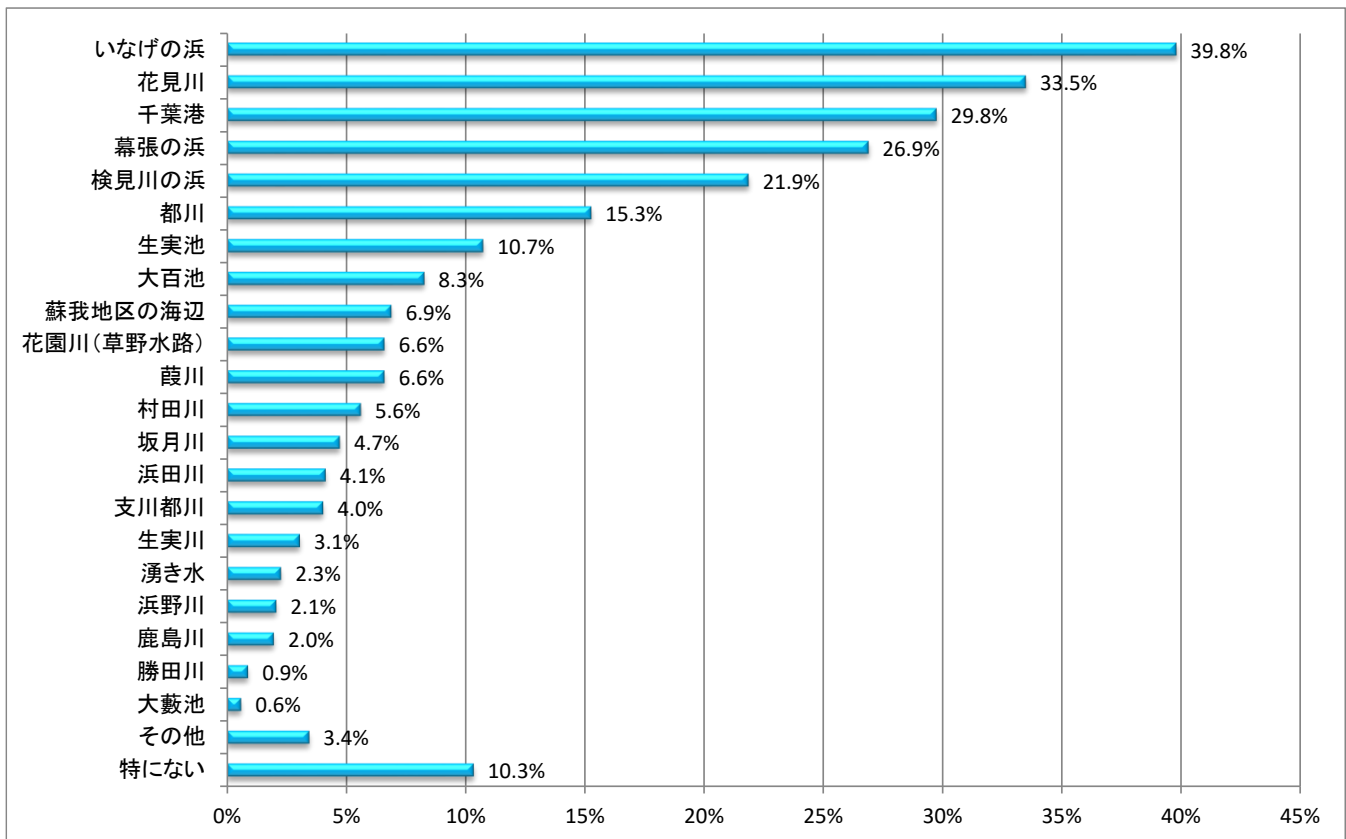
水環境を良くするために、あなたができると思うことについてお聞きしました。令和元年度と比較すると、傾向に変化はありませんでしたが、節水や家庭排水の削減など家庭でできる対策について高い関心を持っているようです。

※ インターネットを通じて、市民の環境配慮行動の実践状況についてアンケートを実施した結果です。平成25年度をもってインターネットモニターが終了したことから、平成26年度からは広く市民を対象とするWEBアンケートに移行しています。

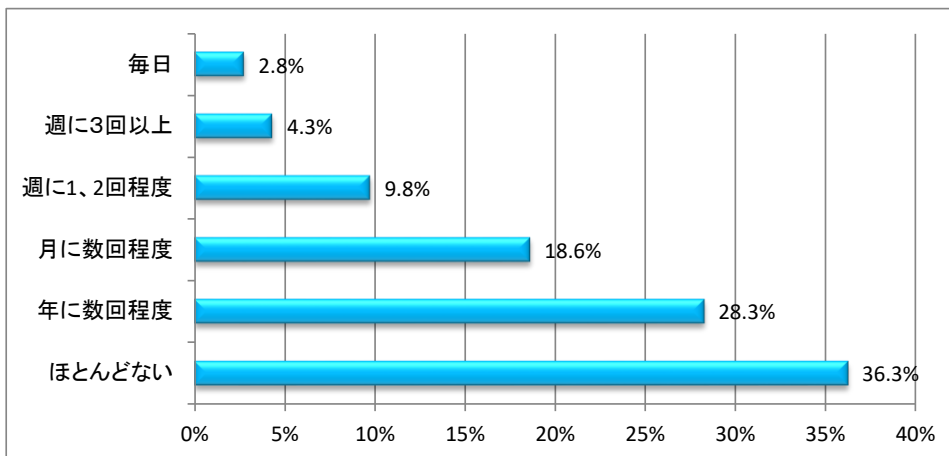
※ 平成21年度は、インターネットモニター登録者1,839名中913名が回答（回答率49.6%）

<アンケート回答詳細>

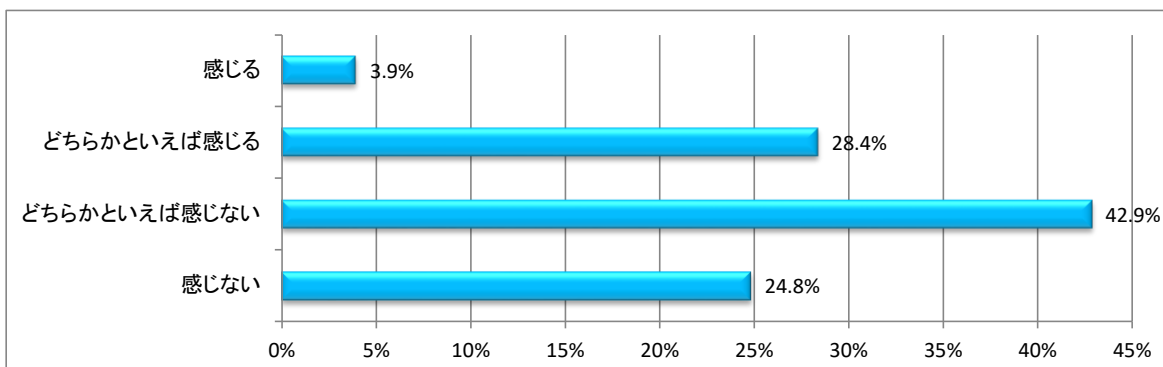
Q1：一番身近に感じる水環境（海や川、湧き水など）は何ですか。



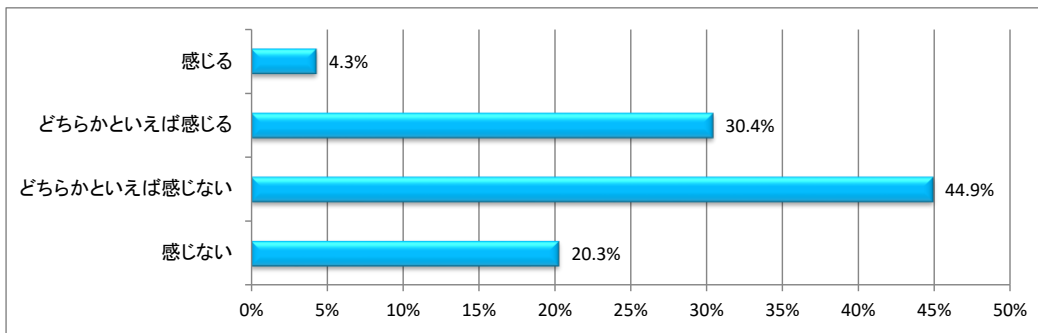
Q2：水辺の散歩、動植物の観察など身近な水環境にふれあう機会はどの程度ですか。



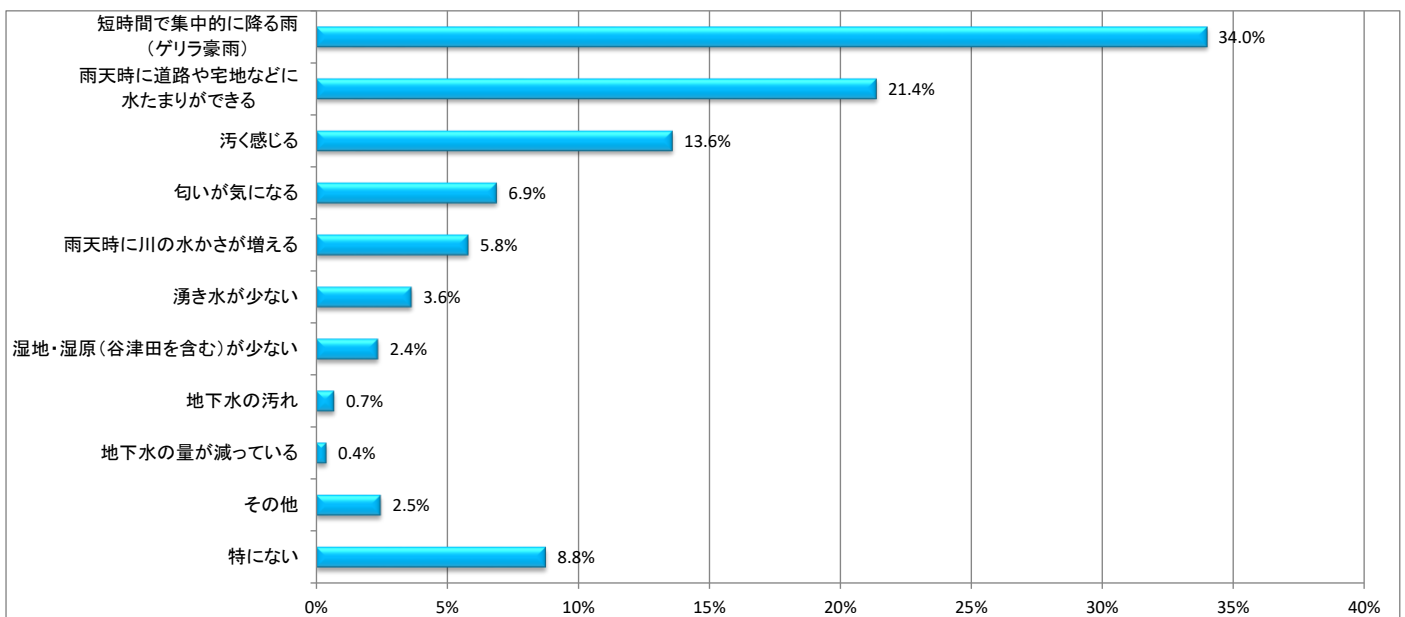
Q3：身近な水環境はきれいだと感じますか。



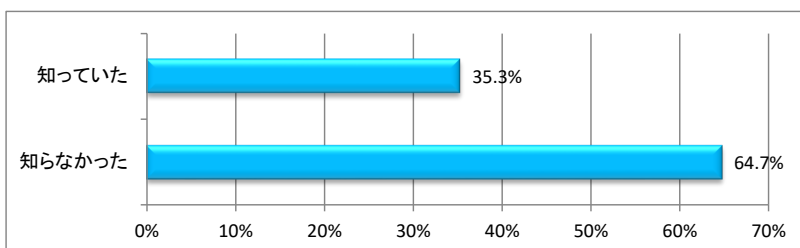
Q4：身近な水環境に生育、生息する生きものは多いと感じますか。



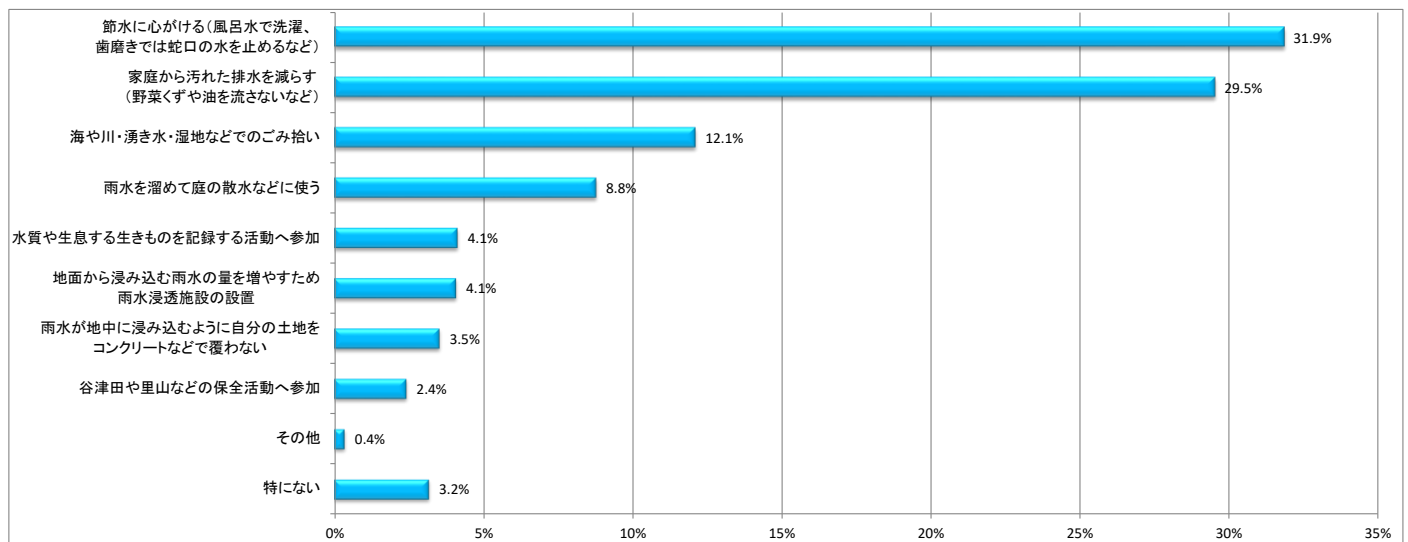
Q5：本市の水環境の問題で、一番気になることは何ですか。



Q6：本市では、谷津田に様々な動植物が生息していることから、谷津田を保全する取組みを行っていますが、知っていましたか。



Q7：水環境を良くするために、あなたができると思うことは何ですか。



<アンケート回答者情報>

